



YGS-30A

ガーデンシュレッダー

Garden Shredder

取扱い・組立説明書



目次

- 安全にご使用いただくために……………1～2
- 仕様……………3
- 各部の名称と付属品……………3～4
- 組立方法……………5～6
- 延長コードについて……………7
- 使用方法……………7
- 安全装置について……………8
- 粉碎刃のメンテナンス……………9
- 保守と点検……………10
- トラブルの原因と対策……………10



二重絶縁

二重絶縁とは、電気回路と使用者が触れる外觀部品との間が、異なる絶縁物で絶縁され、感電に対する安全性が高くなった構造を言います。このためアース接地する必要がありません。

●2重安全装置付●

- 1 モーター過負荷防止ブレーカー
- 2 本体カバー安全スイッチ

使用用途：剪定枝木の粉碎 ※本機はDIY商品として開発された商品です。一般の家庭用としてお使いください。

**警告**

安全のため必ずこの取扱い・組立説明書をよくお読みください。
本機の使用方法を誤りますと、ケガをするなど大変危険です。

安全にご使用いただくために

ガーデンシュレッダー YGS-30A を、お買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前に必ず、この取扱い・組立説明書を良くお読みいただき、警告及び注意事項を厳守して安全に正しくご使用ください。また、お読みになった後も、この取扱い・組立説明書をすぐに取り出せる場所へ大切に保管しておいてください。

※ここに示した警告及び注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、ご使用される方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負ったり、重大な物的損害事故の可能性が想定される内容を示します。



注意

誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の意味



禁止行為であることを告げるもので、近傍に具体的な内容を説明しています。



行為を強制したり指示をするもので、近傍に具体的な内容を説明しています。

警告

使用前に本機各部を点検して各部にネジの緩みがないか、各部に損傷がないか、正常に作動するか確認してください。本機の輸送途中の衝撃等により、本機の破損、変形、溶接部の外れや、取付部品の損傷等により、思わぬ事故につながる恐れがありますので、ご使用前に必ず確認し正しい状態でご使用くださいますようお願いいたします。



作業に適した服装で使用してください。

長い髪は帽子やヘアカバー等で覆ってください。ネクタイ・ネックレス・袖口の開いた服装等は可動部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。作業者は保護メガネ、ヘルメットまたは保護帽子、厚手の手袋等を必ず身に付けてください。身につけないと、処理物が飛散した場合、思わぬ事故の原因となります。長袖長ズボン、滑り止めがついている靴(安全靴)、の使用をお勧めします。

始動する前は本体内部にスパナ等工具や部品の置き忘れがないか確認してください。故障・重大な事故の原因となります。

電源は銘板に記載されている電圧でご使用ください。(本機は 100V 専用です)

電源プラグを差し込む前に、電源スイッチが OFF になっている事を確認してください。



雨の中、湿った場所、濡れた場所での使用・放置はしないでください。水洗いしないでください。感電の原因、モーター損傷の原因となります。



濡れた手でスイッチ、電源プラグに触れないでください。感電の原因、モーター損傷の原因となります。



揮発性可燃物(灯油・ガソリン・シンナー等)や可燃物の近くで使用しないでください。引火・爆発の恐れがあり大変危険です。



次の作業の場合は、電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグが入ったままだと誤ってスイッチが入り、不意に動き出してケガや重大な事故の原因となります。

- ・メンテナンス(本体内部の木屑又は異物を取り除く、粉碎刃の交換等)を行う時
- ・調整、点検を行う時、10 ページ「トラブルの原因と対策」の対策を行う時
- ・本機を移動させる時
- ・本機を使用しない時、保管する時
- ・その他、不意に動き出すと危険な時

| | |
|---|--|
| ⊘ | <p>お子様や使用方法が分からない方には絶対に使用させないでください。 小さなお子様を本機に近づけさせないでください。 作業中は作業員以外、本機に触れさせないでください。 作業中は作業員以外、作業場 3m 以内へ近づけさせないでください。 重大な事故の原因となります。</p> |
| ! | <p>本機は水平に保ち、安定した場所で使用してください。 本機が転倒した状態等で、粉砕作業は絶対にしないでください。故障・重大な事故の原因となります。</p> |
| ⊘ | <p>運転中は枝木投入口や粉砕片排出口に手を入れたり顔を近づけたり、直接のぞかないでください。重大な事故の原因となります。</p> |
| | <p>本機を剪定枝木の粉砕以外で使用しないでください。 故障・重大な事故の原因となります。</p> |
| ⊘ | <p>電源コードや電源プラグを傷つける行為をしないでください。 無理に曲げる・引っ張る・ねじる・挟み込む・重いものを上にのせる・加工する等はしないでください。電源コードが破損し火災・感電の原因になります。</p> |
| | <p>回転盤の回転中は、本体カバーは絶対に開けないでください。大変危険です。 重大な事故の原因となります。電源スイッチを切り回転盤が完全に停止してから、電源プラグを抜き本体カバーを開けてください。</p> |
| ! | <p>粉砕時は枝木が大きく振動し危険です。ハンドルをしっかりと持ちながら枝木を保持し、ケガをしないように注意してください。</p> |
| | <p>作業を中断するときや、その場を離れるときは電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。不意な始動は避けてください。重大な事故の原因となります。</p> |
| ⊘ | <p>電源コードが破損したり部品が損傷した状態では、絶対使用しないでください。 感電及びショートの原因や、重大な事故の原因となり大変危険です。</p> |
| | <p>お客様ご自身での修理、改造は絶対にしないでください。 重大な事故の原因となります。</p> |
| ! | <p>本機が熱くなったり、異常が感じられた場合は直ちに使用を中止してください。 お買い求めの販売店、又は山善技術センターに点検、修理をお申し付けください。</p> |

⚠ 注意

| | |
|---|---|
| ⊘ | <p>無理な姿勢での使用はしないでください。 事故、ケガ等の原因となります。</p> |
| ! | <p>作業する場所はいつもきれいに保ってください。 ちらかった場所での使用は、事故、ケガ等の原因となります。</p> |
| | <p>粉砕する枝木の中に、異物が含まれないように注意してください。金属・岩石・ビン・缶等の異物が入ると故障したり飛散した異物で怪我をする恐れがあります。</p> |
| | <p>作業時は動作音・粉砕音が出ます。周囲に迷惑をかけないように使用してください。</p> |
| | <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを持たないで電源プラグを持って抜いてください。 使用しない場合は、子供の手の届かない安全な場所・乾燥した場所に保管してください。</p> |

- お願い ● 本機は剪定枝木専用です。繊維質のつる草や草花は入れないでください。
 回転盤にからまり正常に作動しない場合があります。
- 建築資材や角材、太い木を割った薪等はいれしないでください。
 乾燥した硬木や、非常に硬い木は粉砕できないことがあります。
 - 竹類や繊維質の強い枝は粉砕できない場合があります。
 - 注意に表記している内容でも、状況によっては死亡・重症等の重大な事故につながる恐れがありますので必ず守ってください。
 - 本機は日本国内専用です。海外では使用しないでください。

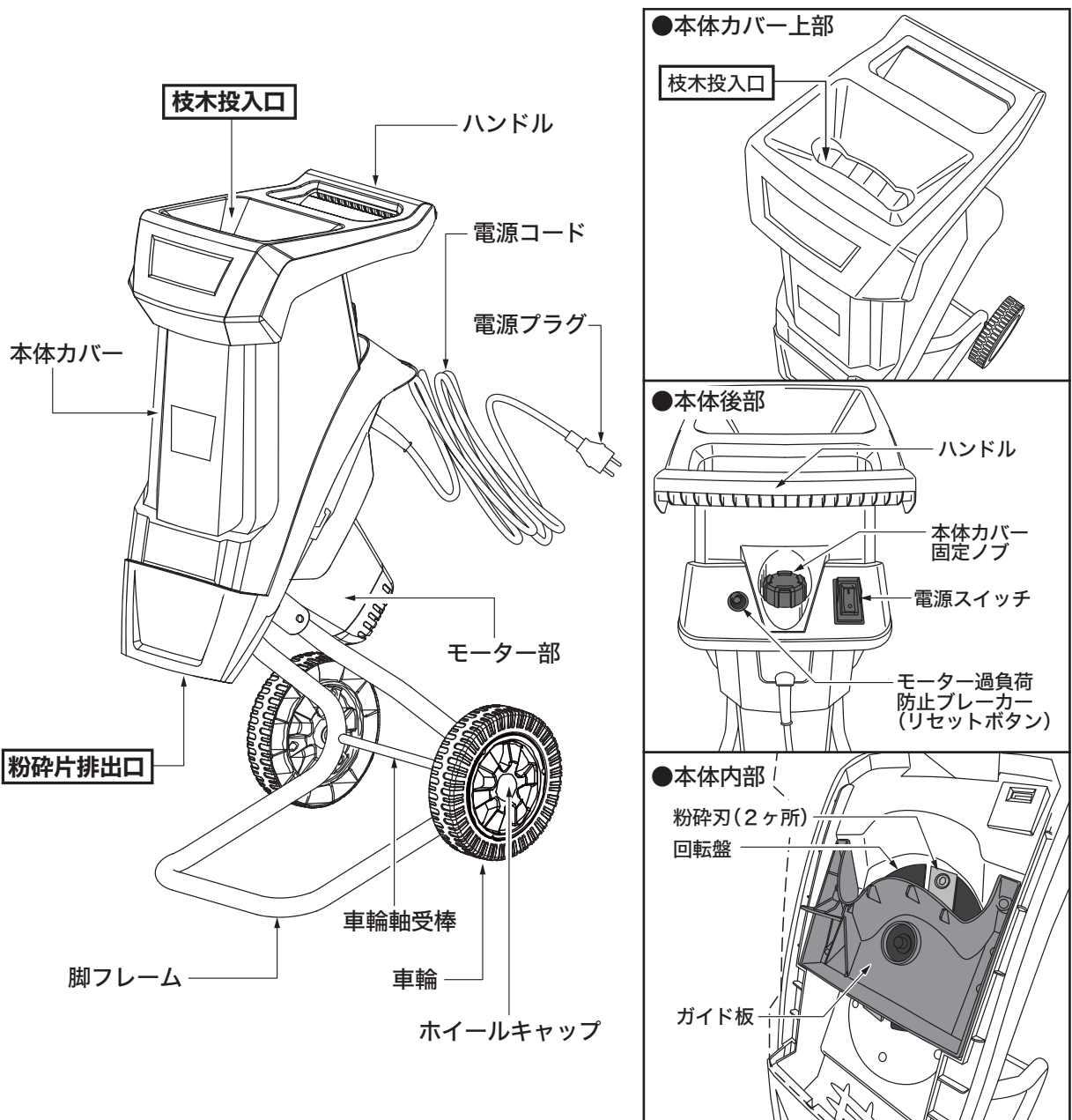
仕様

| | | | |
|------|-----------------|---------|-------------------------|
| 型番 | YGS-30A | 定格時間 | 25分(注) |
| 電圧 | 100V | 本体サイズ | 幅 375× 奥行 490× 高さ 900mm |
| 周波数 | 50/60Hz | コード長さ | 4m |
| 消費電力 | 1500W | 本体重量 | 約 10kg |
| 電流 | 15A | 最大粉碎枝径 | φ30mm |
| 回転数 | 3750r.p.m(無負荷時) | 粉碎バック容量 | 60 L |

※ 改良の為、製品の仕様・外観が変わる場合がございます。

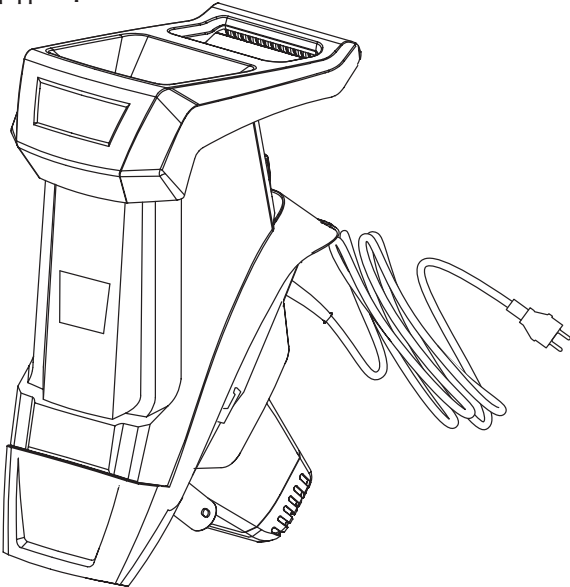
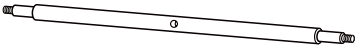



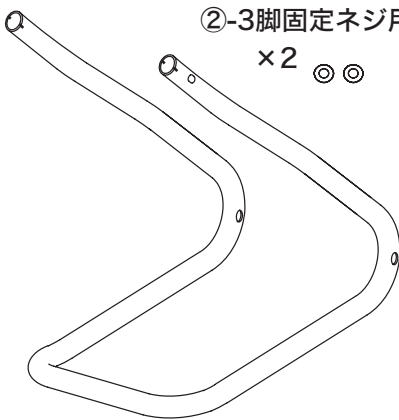


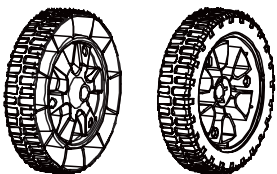
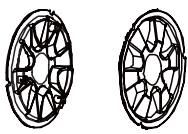

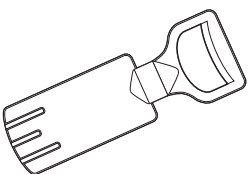
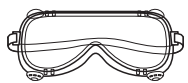
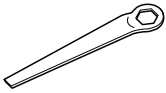

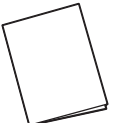
(注) 気温 20 度を基準に設定させて頂いております。外気温が 20 度を大きく超える場合は更に短い時間内で本機を休ませながらご使用ください。モーター焼けの原因となります。

各部の名称と付属品



梱包内容をご確認ください。

本体及び付属品

| | |
|---|---|
| <p>①本体×1</p>  | <p>③-1 車輪軸受棒 ×1</p>  <p>③-2 車輪止めナット用ワッシャー×2 (内径 10mm)</p>  <p>③-3 車輪用スリーブ×2</p>  <p>③-4 車輪止めナット×2 (13mm)</p>  <p>③-2,③-3,③-4 は車輪軸受棒に取り付けております。</p> |
| <p>②-1 脚フレーム×1</p>  <p>②-2 脚固定ネジ×2</p>  <p>②-3 脚固定ネジ用ワッシャー×2</p>  | <p>④車輪 ×2</p>  <p>⑤ホイールキャップ ×2</p>  |
| <p>付属品</p> <p>⑥粉砕片バッグ×1</p>  <p>⑦押し込み棒×1</p>  <p>⑧保護メガネ×1</p>  | <p>⑨スパナ×1 13mm(車輪取付用)</p>  <p>⑩六角レンチ×1 6mm (メンテナンス用)</p>  <p>⑪取扱い・組立説明書(本書)</p>  |

組立方法



警告



組立時は、必ず丈夫な手袋を着用してください。
ケガをしないように保護具を着用ください。



組立時は、電源プラグをコンセントにつながないでください。
機械が不意に動き出してケガや重大な事故の原因となります。



注意



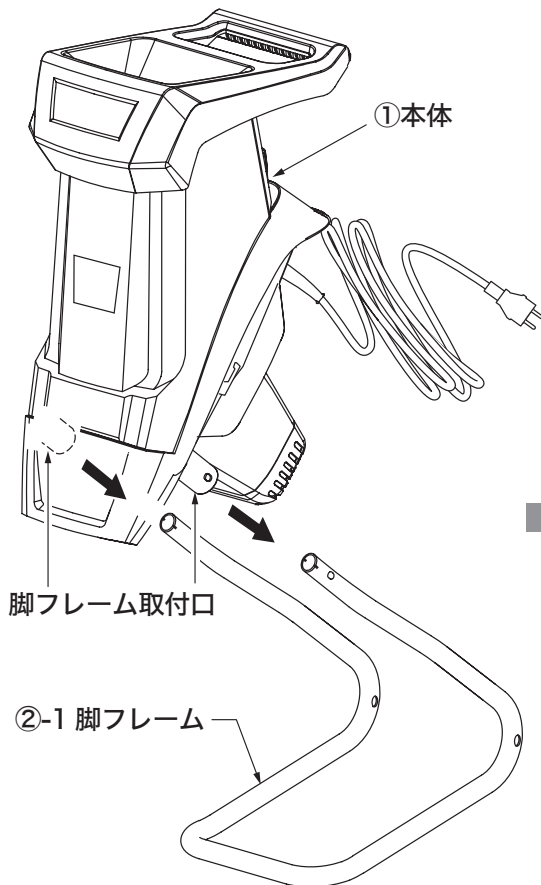
組立中ケガをしないようにご注意ください。本機は重量があります。横倒しにする際は手を滑らせたり、ケガをしないようご注意ください。

周囲に傷をつけないようにしてください。組立作業をする際には、床やテーブルに毛布等を敷き傷をつけないようご注意ください。

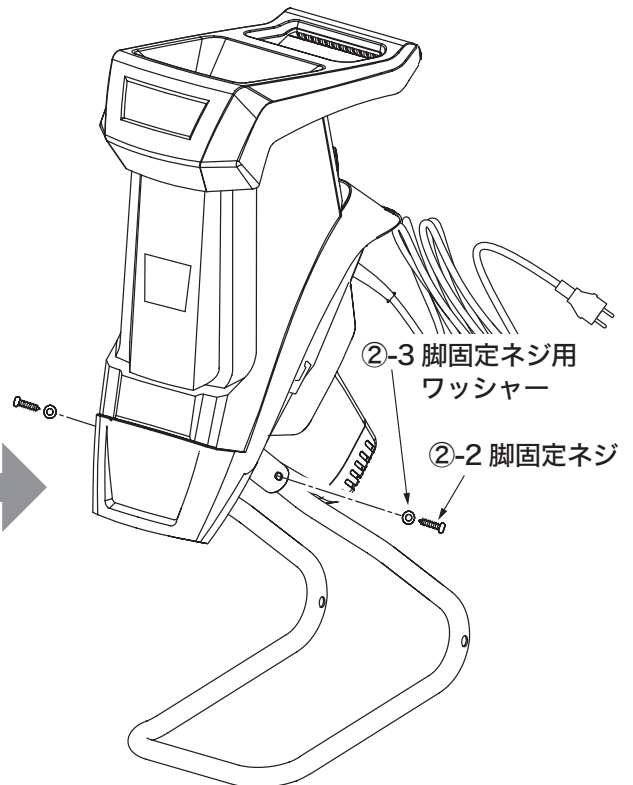
1 脚の取り付け方

脚フレームを図のように置き、本体下の脚フレーム取付口2ヶ所に差し込みます。
脚フレームを本体に固定します。市販のプラスドライバーを使用し、付属の脚固定ネジと脚固定ネジ用ワッシャーで、脚フレーム取付口の側面2ヶ所を固定してください。

脚フレームを差し込む



脚フレームを本体に固定

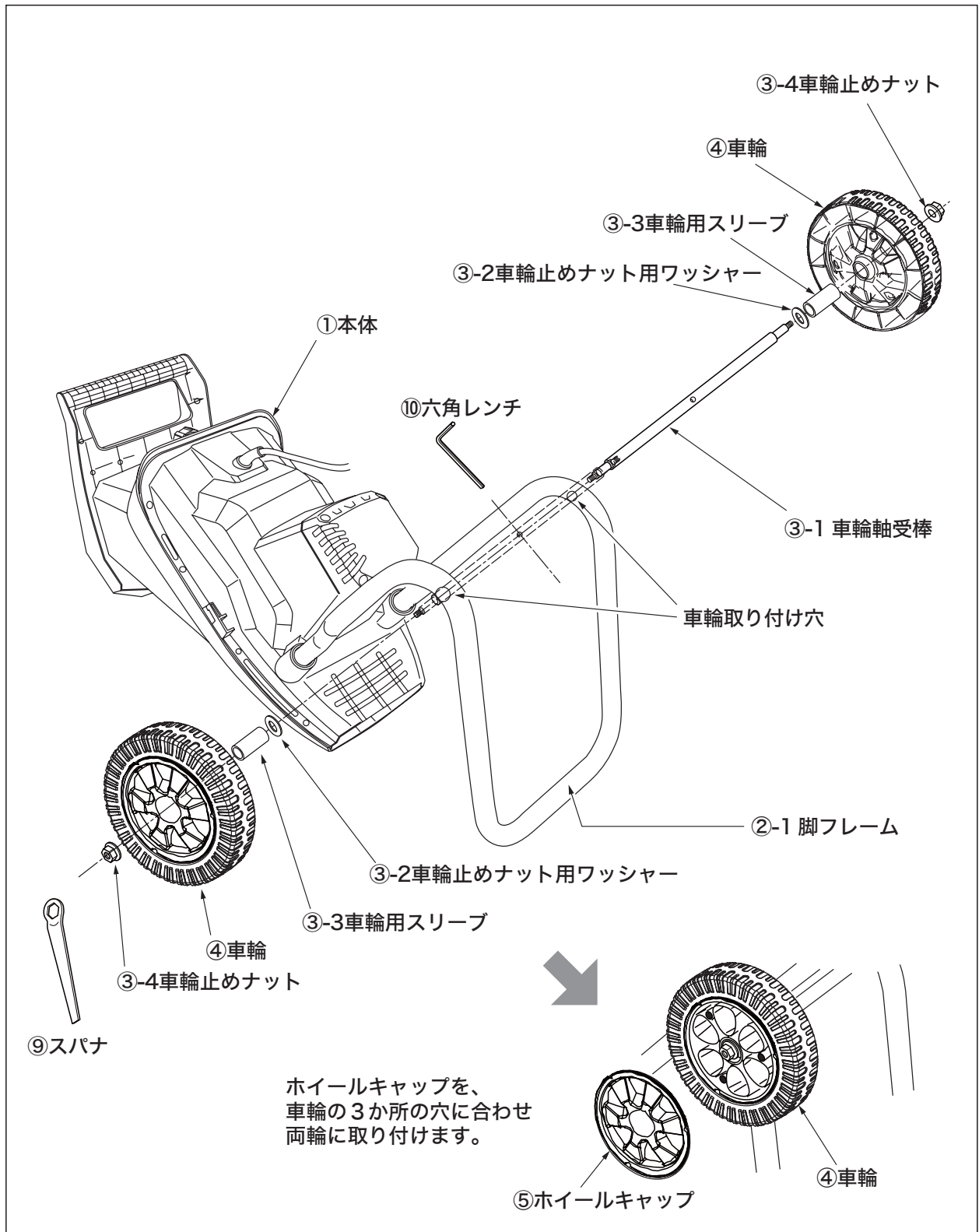


2 車輪の取り付け方

本体を図のように倒し車輪を取り付けます。脚フレームの車輪取り付け穴に車輪軸受棒を通します。

通した車輪軸受棒に下図の順で各部品をはめ込んでください。

六角レンチで車輪軸受棒を固定しながら、スパナで車輪止めナットを締め付けてください。同じように反対側の車輪も取り付けてください。



※○入り数字は部品番号です。(4ページを参照ください。)

延長コードについて

- 本機の電源は **100V 15A** 単独が必要です。電源が離れていて延長コードが必要なときは、最高の能率でご使用いただくために、十分な太さのできるだけ短い延長コードをご使用ください。(下表参照)

| | | |
|------------------------|--|-----------------------|
| 延長コードの太さ(導体公称断面積)と最大長さ | 延長コードの太さ(導体公称断面積) 1.25mm² 以上 | 延長コードの長さ 10m以内 |
|------------------------|--|-----------------------|

- ※細い延長コードや1つのコンセントで複数の電気器具をご使用になりますと、電気容量不足で正常な回転をしないことがあります。
- ※ドラム式の延長コードをご使用の場合は、使用中の発熱及び電圧降下を防止するため、コードはすべてドラムから引き出してご使用ください。

使用方法



本書 1 ~ 2 ページの「安全にご使用いただくために」をお読みいただき警告・注意事項を厳守して安全に正しくご使用ください。

作業前のご注意



- 点検の際は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 作業前には必ず点検をしてください。各部にネジの緩みがないか、損傷がないか、正常に作動するか確認し、点検後は本体内部にスパナ、ドライバー等工具の置き忘れがないかご確認ください。
- 本体内部に異物がないか確認してください。点検は必ず本体内部に金属・岩石・カン等の異物が入っていないかご確認いただき、それらを取り除いてください。
- 電源プラグを差し込む前に、電源スイッチが切れているか確認してください。電源スイッチが入ったまま電源(延長コードや電源コンセント)に接続すると不意に動き出し、重大な事故になる恐れがあります。又、使用後は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 作業時は、保護具を着用してください。保護メガネや防塵マスクと丈夫な手袋をご使用ください。
- 本体カバー固定ノブは正しくしっかり締めつけてください。重大な事故になる恐れがあります。

1 粉砕作業

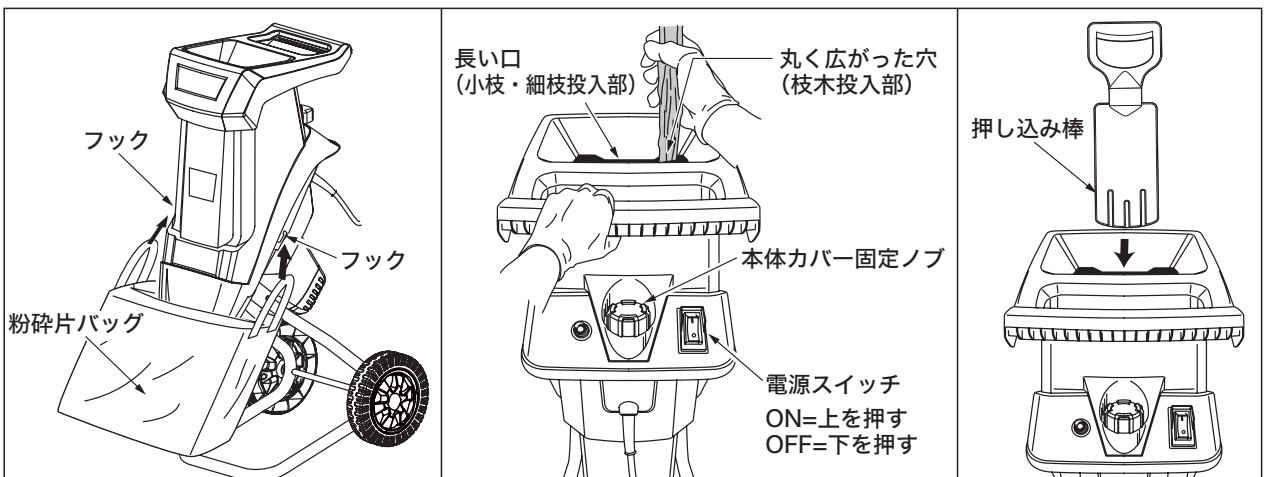
1. 粉砕片を受ける準備をしてください。粉砕片バッグのファスナーを開け、粉砕片排出口を覆うようにして本体両脇のフックに引っ掛けてください。枝木の直径が 30mm まで投入できます。作業前に枝木投入口に入るよう横枝をなるべく取り払っておいてください。
2. 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチの上を押し ON にすると回転盤が回転しはじめます。
3. 電源を入れて回転盤の回転が安定したら、ハンドルをしっかりと持ちながら、枝木投入口より枝木を投入し粉砕してください。太い枝木は枝木投入口右側の丸く広がった穴から、小枝・細枝は枝木投入口の長い口から投入してください。
4. 投入した枝木が短くなった場合や小枝・細枝を投入した際には付属の「押し込み棒」で枝木投入口から押し込んで粉砕してください。
5. 停止をするときは電源スイッチの下を押し OFF にしてください。

スムーズに枝木の粉砕作業をするために

- ・太い枝木は細い方から投入すると粉砕が容易にできます。
- ・短い枝木は長い枝木と共に、筒状にまとめて縦に投入してください。
- ・水分を多く含んだ枝木は、乾燥させてから投入してください。

注 1) 定格時間(25分)以上連続運転しないでください。適度に本機を休ませながら粉砕してください。

注 2) 枝木投入の際、一度に大量投入したり無理な押し込みをすると、つまりの原因となり、モーターに過剰な負荷がかかります。過剰な負荷がかかると、モーター過負荷防止ブレーカーが働き停止します。本機の復帰方法については次ページの「安全装置について」を参照ください。



安全装置について



本体カバーを取り外す場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。電源スイッチを入れたまま、または回転盤の回転中は本体カバーを開けないでください。重大な事故の原因となります。

本体カバーを取り付ける際は、本体カバー固定ノブを正しくしっかり締めつけてください。ノブの締めつけがゆるいと、使用中の振動で本体カバーが外れ重大な事故の原因となります。

作業時は、保護具を着用してください。保護メガネや防塵マスクと丈夫な手袋をご使用ください。

●本体カバー安全スイッチ

本体カバー固定ノブを緩め、本体カバーを取り外すと、安全装置が働き電源スイッチを入れても作動しません。本体カバーは正しく取り付け、本体カバー固定ノブを十分に締め付け固定して使用してください。

●モーター過負荷防止ブレーカーが働いた場合の復帰方法

枝木を無理に押し込んで、モーターに負荷がかかり過ぎた場合や、木屑が回転盤に挟まったり、湿気の多い枝木の粉碎屑が落下せず回転盤に多量に付着し、モーターに過剰な負荷がかかった場合にモーター過負荷防止ブレーカーが働き停止します。

モーター過負荷防止ブレーカーが働き停止した場合は下記の手順で復帰してください。

(1) 木屑等を取り除くには、必ず電源スイッチを OFF にして、電源プラグを抜いてください。

(2) 本体カバー固定ノブを緩め、本体カバーを取り外してください。

(3) 本体内部の木屑等を完全に取り除いてください。

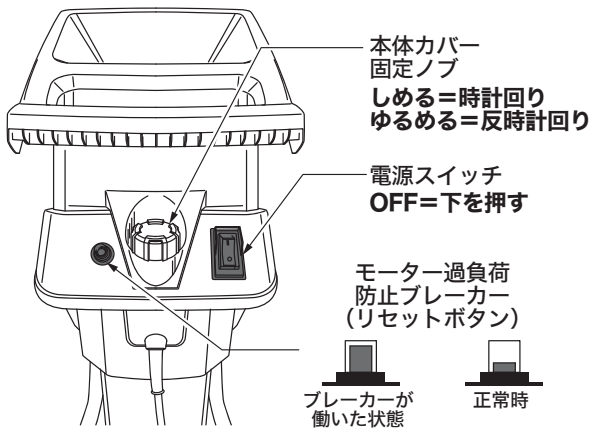
(4) 本体カバーを取り付け、本体カバー固定ノブを十分に締め付け固定してください。

(5) モーター過負荷防止ブレーカーのリセットボタンを押し込んでください。

※リセットボタンは、電源スイッチを OFF にして、電源プラグを抜き1~2分間待ってから押し込んでください。

(6) 運転を再始動する際は、7 ページの「使用方法」の 1 粉碎作業 1⇒2 の手順でおこなってください。

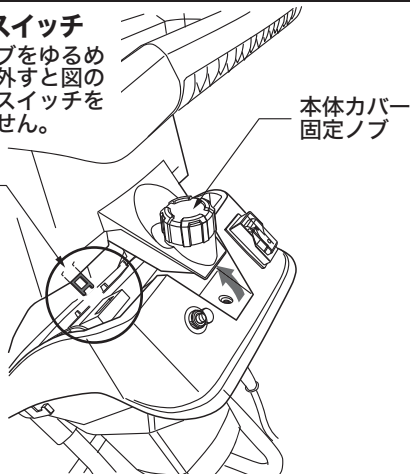
スイッチ説明図



本体カバー安全スイッチ

本体カバー固定ノブをゆるめ、本体カバーを取り外すと図の金具が外れ、電源スイッチを入れても作動しません。

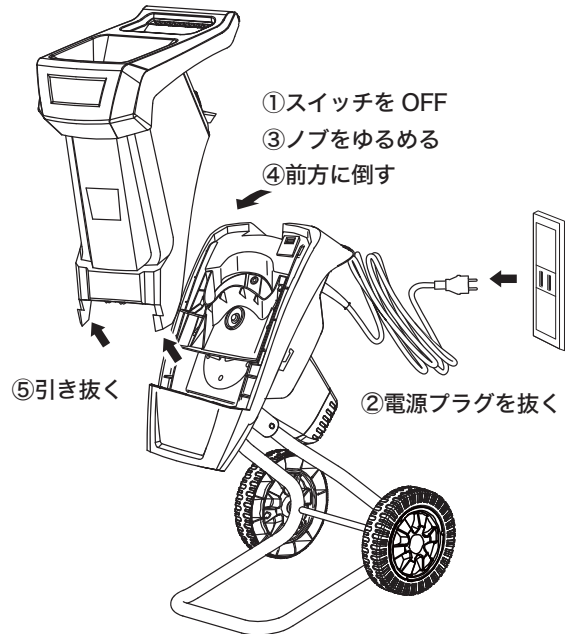
本体カバー安全スイッチ



※本体カバー固定ノブを緩め開けたところ

本体カバーの取り外し

- ①電源スイッチを OFF にする。
- ②電源プラグを抜く。
- ③本体カバー固定ノブをゆるめる。
- ④本体カバーを前方に倒す。
- ⑤本体カバーを引き抜く。



本体カバーの取り付け

本体カバーの取り付けは、逆の手順で取り付けてください。取り付けの際は本体カバー安全スイッチの金具を差し込むように、正しくはめ込んでください。必ず本体カバー固定ノブを十分に締め付け固定してください。



警告 本体カバーを開け木屑等を取り除く際は、粉碎刃等でケガをしないようご注意ください。

粉碎刃のメンテナンス

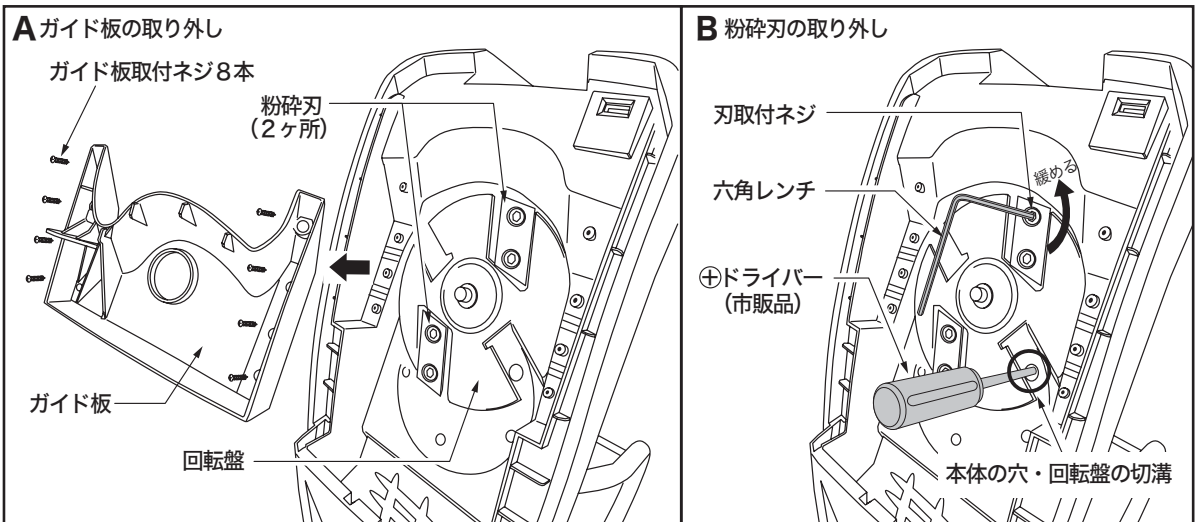


- ❗ 本体カバーを開ける場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて回転盤の回転が止まったことを確認してから開けてください。
- ⚠ 作業時は、保護具を着用してください。保護メガネや防塵マスクと丈夫な手袋をご使用ください。
- 🚫 交換作業の途中で、絶対に電源を入れないでください。重大な事故や故障の原因となります。

長期のご使用、またはご使用の頻度により粉碎刃が摩耗し十分に粉碎ができなくなる場合がございます。粉碎が不十分な場合は、下記の手順で粉碎刃を交換してください。
 ※交換用粉碎刃のお取り寄せ、または交換修理をご希望の際は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

粉碎刃の交換方法

- ①必ず電源スイッチを OFF にし、電源プラグを抜いてください。
- ②固定ノブを緩め、本体カバーを取り外します。(8ページ「本体カバーの取り外し」参照)
- ③市販のプラスドライバーで8本のネジを緩めてガイド板を取り外し、回転盤を動かないように固定します。
 ※市販のドライバー等を本体の穴(下B 図○印)に入れ、回転盤の切溝に挟み、回転盤を固定します。
- ④付属の六角レンチ 6mm で刃取付ネジを緩めて外してください。
 ※刃取付ネジは反時計回りに回すと緩みます。刃取付ネジの回す方向にご注意ください。
 ※刃取付ネジが固い場合は潤滑剤を塗布するか、六角レンチの端を市販のハンマー等で軽く叩いてください。
- ⑤粉碎刃の取り付けの際は、取り外しの逆の手順でおこなってください。
 ※粉碎刃の取り付けは、刃取付ネジを時計回りに回し固定してください。
 ※粉碎刃の交換や回転盤の固定に使用した工具類は、本体内部に置き忘れないでください。
 ※刃取付ネジ・ガイド板取付ネジ・本体カバー固定ノブは、確実に締め付けて固定してください。



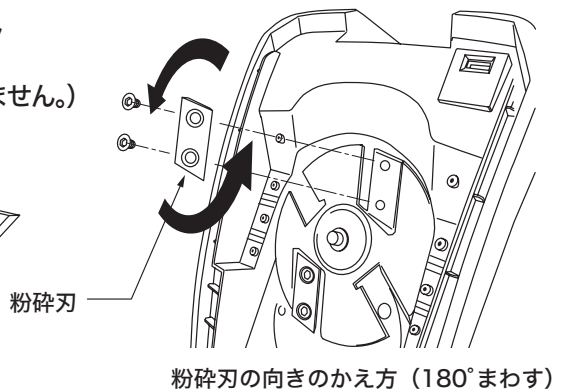
粉碎刃について

- ①粉碎刃は両側使用可能です。片側が消耗したら180°まわし向きをかえ、逆側を使用してください。
 ※取付方向にご注意ください。(裏返し取り付けはできません。)

粉碎刃のエッジ部分を上側にして取り付けてください。



- ②粉碎刃の両側が消耗したら新しい粉碎刃に取り替えてください。
 ※YGS-30A 専用の粉碎刃(別売1セット2枚入)をご使用ください。



保守と点検



警告



本機使用后、保守・点検・収納する時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。

保守・点検時には、必ず丈夫な手袋を着用してください。

保護具をつけてケガをしないように刃先等に気をつけて行ってください。

水洗いは絶対にしないでください。本機は電動機械です。故障・事故の原因になります。

1. 使用後は、丈夫な手袋を着用し本機の内外部の木屑・埃を取り除き、汚れや湿気を拭き取りください。
2. 本体の汚れがひどい場合は、薄めの石けん水(中性洗剤)を含ませた布をしぼって拭いてください。
※ガソリン・シンナー・ベンジン・灯油等は絶対に使用しないでください。
3. 掃除後はよく乾燥させてください。
4. 粉碎刃や回転盤等の金属部品には防錆スプレー等を塗布してください。
5. 使用後はお子様の手の届かない所で、鍵のかかる乾燥した場所に保管してください。

トラブルの原因と対策

| 症状 | 原因 | 対策 |
|-----------------------|---|---|
| ①モーターが動かない。 | ○電源プラグが抜けている。 | ●電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントに差し込んでください。又コンセントに通電しているか確認してください。 |
| | ○プラグコードが損傷している。 | ●直ちに使用を中止し修理依頼をしてください。 |
| | ○本体カバー固定ノブが十分に締めつけ固定されておらず、安全装置が働いている。 | ●本体スイッチを切り、電源プラグを抜き本体カバー固定ノブをしっかり締めてください。 ●本体カバーの取り付けをさまたげている木屑等がある場合は、それを取り除き本体カバーを正しく取り付けてください。(8 ページ参照) |
| | ○モーター過負荷防止ブレーカーが働いている。 | ●モーター過負荷防止ブレーカーが働いた場合の復帰方法の手順で、電源スイッチを切り電源プラグを抜き、リセットボタンを押し復帰させてください。(8 ページ参照) |
| ②モーターが急に動かなくなった。(作業時) | ○無理な押し込み、木屑の詰まり等でモーター過負荷防止ブレーカーが働いた。 ※上記症状①の原因も確認してください。 | ●モーター過負荷防止ブレーカーが働いた場合の復帰方法の手順で、電源スイッチを切り電源プラグを抜き、木屑を取り除きリセットボタンを押し復帰させてください。(8 ページ参照) |
| ③枝木が切れにくくなった。 | ○粉碎刃の消耗。 | ●本体スイッチを切り電源プラグを抜きます。「粉碎刃のメンテナンス」の項目をお読みにになり、刃の向きを換えるか新しい刃に取り替えてください。(9 ページ参照) |

極端に細い枝や葉っぱは細かく粉碎されません。つる草や雑草の処理には不向きです。